

# 教育委員会臨時会会議録

令和2年7月31日（金）



護者の代表、合わせて10名の方々を委嘱させていただき、令和3年度から使用する中学校教科用図書の調査研究について諮問していただいております。

採択検討委員会では、県の採択方針及び市の採択基本方針を基に、県教育委員会が作成した中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程用教科用図書調査研究の結果（令和3・4・5・6年度使用）や市内の公立中学校ごとに調査研究を行い、報告いただいた資料を事務局が集計した、令和3年度使用茅ヶ崎市教科用図書の学校単位調査・研究結果のまとめや、採択検討委員会が茅ヶ崎市、寒川町の中学校の52名の先生方に調査研究を依頼し、5月27日、6月4日、6月11日の3日間にわたる調査研究の内容をまとめた令和3年度使用茅ヶ崎市・寒川町教科用図書採択に係る調査員作業による調査資料、（令和3年度使用中学校教科用図書）及び展示会の意見等を参考資料としながら、5月26日、7月2日、7月8日、7月15日の4日間にわたる研究協議を行い、その審議結果を4ページから29ページの答申資料としてまとめ、教育委員会に答申したところです。答申内容につきましては、後ほどご説明させていただきます。

また、湘南三浦教育事務所における法定展示、茅ヶ崎市立図書館における教科書の常設展示の他、茅ヶ崎市役所本庁舎1階市民ふれあいプラザにおける市民を対象とした見本本の展示会を6月19日から6月26日までの土日を除く6日間実施いたしました。

なお、歴史的分野の教科書を発行している学び舎につきましては、見本本の提供がなかったため、教科用図書の調査研究を行うことができませんでした。よって、先ほどご説明させていただきました調査員作業による調査資料には調査結果が記載されておりません。学び舎の教科書につきましては、県の教科用図書調査研究の結果をご参照いただきますようお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、本日までの経過についてご説明させていただきました。

○竹内教育長 説明が終わりました。ここまでで何かご質問はございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続き採択検討委員会からの答申について担当事務局よりご説明をお願いいたします。

○学校教育指導課長 それでは、答申内容を読み上げる形で説明に代えさせていただきます。3ページをご覧ください。

令和3年度使用中学校教科用図書の採択についての答申について

茅ヶ崎市教科用図書採択検討委員会

茅ヶ崎市教科用図書採択検討委員会は、茅ヶ崎市教育委員会が採択する令和3年度使用中学校教科用図書について、調査研究及び協議し、検討結果を次のように茅ヶ崎市教育委員会に答申する。

- 1 令和3年度使用中学校教科用図書については、各教科書発行者から送付された見本本の調査研究を、「中学校用教科書目録」、「教科書編集趣意書」、県教育委員会の「採択方針」、「教科用図書調査研究の結果」、茅ヶ崎市の「調査資料」、「学校単位調査・研究結果のまとめ」等の資料を踏まえるとともに、生徒・学校・地域等の状況を考慮した上で、学習指導要領の趣旨に基づき慎重かつ公正に行った。
- 2 その協議結果を、別紙資料に示す。

以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○竹内教育長 説明が終わりました。それでは、委員の皆様から答申につきまして何かご質問がございますでしょうか。よろしいですか。

本日報告していただきました答申や、答申添付資料ができるまでに4回にわたる採択検討委員会において調査研究をしていただいているとの説明がございました。また、学校単位調査・研究結果のまとめや、調査員の皆様がまとめた調査資料など、茅ヶ崎市として調査研究を行っていただいているとの説明もありました。本日は、これまでの調査研究の成果を大切にしながら、茅ヶ崎の子どもたちにとってふさわしい教科書を採択していきたいと思えます。

それでは、日程第1 教委報告第34号令和3年度使用中学校教科用図書の採択についての答申についての報告を終了いたします。

次に、日程第2 教委議案第37号令和3年度使用中学校及び特別支援学級教科用図書の採択についてを議題といたします。

担当事務局よりご説明をお願いいたします。

○学校教育指導課長 日程第2 教委議案第37号令和3年度使用中学校及び特別支援学級教科用図書の採択について学校教育指導課長よりご説明いたします。

採択検討委員会の答申をご参照の上、中学校の16種目の教科書について順次ご審議の上、種目ごとに1社に絞っていただき、その後、29ページ及び30ページにあります別紙資料1、2の、令和3年度使用中学校及び特別支援学級教科用図書につきまして、神奈川県教育委員会の採択方針及び茅ヶ崎市教育委員会の採択基本方針に基づき採択していただきたいと思えます。

○竹内教育長 説明は終わりました。教育委員の皆様には、それぞれ採択に向けまして、お忙しい中研究を重ねてこられたと思います。その知見を基に、全ての教科書について種目ごとに発行者を1者に絞り込んでまいりたいと思います。

では、準備が整いましたので、まず国語の教科書から1者に絞り込んでまいります。改めて教科書見本を確認しながらお考えをまとめていただく時間を、短いですが5分ほど取りご意見を伺いたいと思います。それでは、よろしく願いいたします。

そろそろ時間となりますが、よろしいでしょうか。

それでは、ご意見をいただきたいと思います。よろしく願いします。城田委員、お願いいたします。

○城田委員 私は、新学習指導要領についての考え方を中心に考えてみました。新学習指導要領の中では、育成すべき資質・能力を知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学びに向かう力・人間性等を3つの柱として整理されています。その中の思考力・判断力・表現力等の育成という視点から見ますと、光村図書は、場面や目的に応じて様々な方法を使って課題を解決したり、考えを広げたりすることができるように、考え方のスキルをまとめた「思考の地図」を掲載しています。思考法や視覚化ですね、視覚化というのは企業ではよく見える化とかというようなことを言っていますけれども、そういった手法を他教科や日常生活でも活用できるというところから、このことが期待できるのかなということで、光村図書がよいかと思っております。

○竹内教育長 ほかにいかがでしょうか。大森委員、お願いいたします。

○大森委員 私は、学習に困難さを抱える生徒に対する配慮というのはとても大切な視点だと思っております。その視点から、三省堂の教科書は解説がとても簡潔に示されていて、分かりやすい図解を用いて、「読み方を学ぼう」や「思考の方法」のコーナーも随所に記載されています。とても分かりやすい表記や図表で構成されている教科書は、支援が必要な生徒だけではなく、全ての生徒が理解しやすい教科書と言えると思っております。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 どの教科においても、生徒が主体的に学習に取り組めるよう、何を、何のために、どう学ぶかを明確にし、学習に見通しを持たせることが必要だと思います。光村図書の教科書は、冒頭に1年間の国語の学習が見渡せる「学習の見通しをもとう」が掲載され、各単元の「学習」のコーナーには「見通しをもつ」から「学習を振り返る」までの学

習課程がそれぞれ掲載されています。単元や1年間の学習の流れが掲載されることで、生徒自身が学習の見通しを持ちやすくなると思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 今の子供たちというのは、大人もそうですけれども、とにかく読書離れが甚だしい。子供たちもスマホばかり見ているわけです。それで語彙力が育っていません。あまりにも貧弱というのが事実です。何とか語彙力を育てたいと願っているわけですが、この語彙力が、国語科だけではなくて社会科でも数学科でも、全ての教科における資質・能力の育成や学習の基盤となると考えています。ですから、何とか語彙力を育てたいわけです。その点、三省堂の教科書は、様々な言葉を知り語彙が豊かになるように各教材に「語彙を豊かに」という、語彙力に特化したコーナーを設けています。「語彙を豊かに」というコーナーがあるのですが、これがすばらしい。様々なテーマで教材に関連した語彙を取り上げることで、理解できる語句と使える語句が増えて語感が磨かれていくことが非常に期待できると思います。よって、私は三省堂がよいと考えております。

○竹内教育長 ありがとうございます。それでは、私も発言させていただきます。

私は、2者について挙げたいと思っております。まず、新学習指導要領の内容には、情報の扱いに関する事項が今回新設されております。教育出版の教科書は、各学年に「メディアと表現」というメディアリテラシーに関する教材が掲載されておまして、情報発信者の意図を捉え、論理的な思考力を高めることができるよう工夫されていると思います。著名な人物の文章や広告、それから、漫画、SNSなどに関する教材が使われておまして、生徒がより身近に感じながら学習できるのではないかなと思いましたが、教育出版を推したいと思っております。

もう1者といたしまして、国語で学んだことは全ての学習の基礎となり、社会生活にも結びついていくものだと考えております。その点から、光村図書の教科書の巻末に掲載されています「学習を広げる」という資料は、汎用性のある学習のポイントをまとめた、「『学習の窓』の一覧」、「『思考のレッスン』一覧」、「『情報整理のレッスン』一覧」など、学習したことを他教科や日常生活に広げて活用できるようにまとめられていて大変充実した内容になっていると思います。その点からも光村図書を推したいと考えました。

ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる国語の教科書の発行者は光村図書と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 ありがとうございます。

続きまして、書写の教科書を1者に絞り込んでまいりたいと思います。改めて教科書見本を確認しながらお考えをまとめていただく時間を4分間ほど取り、ご意見を伺いたいと思います。それでは、よろしく願いいたします。

そろそろお時間となりますが、よろしいでしょうか。

それでは、ご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。伊藤委員、お願いします。

○伊藤委員 何を学ぶか、それからどのように学ぶかということはとても大事なことだと思いますけれども、学んだことをどのように使うかということも非常に大事なことだと思います。教育出版の教科書は、学習を生かして書くという内容が充実していて、学んだことを生かすという姿勢が見られます。また、多様な表現による文字のコーナーも充実していると思いました。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 私は、書写に関しては2者を推します。1者目は三省堂です。三省堂の教科書は毛筆を学習する教材を見開き2ページで掲載しています。右側にポイントを示して、左側には手本を示す、そういう構成になっております。これは非常に分かりやすい。手本とポイント、学習内容が一目で分かるというよさがあります。それから、実際に手本を見て文字を書く際にも大切なポイントを確認できるというよさがあります。こうした工夫が学びの見通しや自主的な学習につながっていくと思いますので、三省堂をまず推します。

もう1者は光村図書です。光村図書の教科書には、冒頭で「書く道具が生まれる」と題して、写真で筆や紙、すずり、墨、鉛筆の製造工程を取り上げたり、3年生の学習の冒頭では、身の回りにある様々な文字を地図上の写真で紹介する「全国文字マップ」、これがいいですね。また、コラムの中でも日本の豊かな文字文化、日本語の豊かさに触れる教材が掲載されており、伝統や文化に関する学びが充実することが期待できます。

以上、私は書写に関しては、三省堂と光村図書の2者を推します。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。大森委員、お願いします。

○大森委員 私は、光村図書の教科書を推薦させていただきます。新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の改善が求められていると感じております。光村図書の教科書は、「学習の進め方」というページの中で、話し合ったり、確かめ合ったりする生徒同士の写真が記載されています。このことで生徒が仲間と関わり合いながら学びを深めていく、そのような授業のイメージをととても持ちやすいと考えて選ばせていただきました。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。城田委員、お願いします。

○城田委員 主体的に学習に取り組んでいくためには、何をどう学ぶかという学びへの見通しというものを持つことが大切だと思っております。そういった観点から見ますと、光村図書は全ての教材において「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」、という項目が配置されていて、学習の流れが分かりやすく工夫されているところがよいと思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。では、私のほうも発言させていただきます。

新学習指導要領では、書写の学習で身につけた資質・能力を各教科や生活の様々な場面で積極的に生かす態度を育成することが求められています。その観点から、私は2者を挙げたいと思います。

1者目ですが、東京書籍の教科書についてお話ししたいと思います。「生活に広げよう」のページが設けられておりまして、日常生活の活用例などを示しているページがございます。学んだことを他の教科や生活の場面で使うことや活用することは、学習を深めたり、学習意欲を高めたりする点で大変効果が期待できるのではないかと思いました。

もう1者でございますが、光村図書の教科書でございます。光村図書の教科書には「『デザインと文字』を考えよう」の中で、テレビ番組のタイトル文字について取り上げることで、今学んでいる文字と実生活とのつながりや、様々な分野での効果的な使用の在り方に気づくことができるのではないかと考えました。そうした意味で光村図書を挙げたいと思います。

ほかにいかがでしょうか。ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる書写の教科書の発行者は光村図書と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 それでは、光村図書とさせていただきます。

次に、社会（地理的分野）の教科書を1者に絞り込んでまいりたいと思います。改めて教科書見本本を確認しながらお考えをまとめていただくお時間を5分ほど取り、ご意見を伺いたいと思います。それでは、よろしく願いいたします。

そろそろお時間となりますが、よろしいでしょうか。

それでは、ご意見がございましたらお願いします。

では、私のほうから先に発言させていただきます。社会科の学習では、人々の生活などの営みに注目して、その思いに寄り添って考えることがとても大切ではないかと思っています。帝国書院の教科書は、実社会に生きる人々が連携・協働して、社会的課題の解決に取り組む姿を紹介したコラム「未来に向けて」ですとか、生活をより豊かにするために努力する人々や、文化の継承と創造に携わる人々の具体的な話を紹介したコラム「声」が掲載されているんですね。このような教材を通して様々な人々の取組に触れることは、教育基本法の教育の目標に示されています主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことにつながっていくものと考えておりますので、帝国書院を挙げたいと思っております。

ほかにかがででしょうか。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 地理をはじめ社会科の授業というのは、とにかく先生が説明をして、子供たちはそれを暗記していけばいい、覚えていけばいい、そういうものではないんですね。子供が自ら探究するとか追求する、そういう学習になっていないと駄目だと思うんです。新学習指導要領を見ましても、単元や題材など、内容や時間のまとまりを見通しながら、そのまとめ方や重点の置き方に適切な工夫を加え、効果的な指導ができるようにと示されております。その点、東京書籍の教科書は、単元全体を通した問いである「探究課題」というのがあるんです。これを軸に、「学習課題」とか「探究のステップ」という3段階の問いで各単元の学習を構造化しております。このように少しずつ、スモールステップで課題解決に取り組むことで思考力・判断力・表現力等の定着が図られるのではないかと思います。よって、私は東京書籍がよいと考えます。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにかがででしょうか。では、城田委員、お願いします。

○城田委員 私は、帝国書院の教科書がいいなと思っております。理由を2つ挙げさせて

いただきたいと思います。まず1点目が、「世界の諸地域」の学習における各節の始めに、それぞれの地域の様々な文化を紹介する写真が掲載されております。グローバル化が進み、国際理解が大変必要になってきている現代において、この諸地域の多様な生活文化を尊重する態度を育てていくということは大変重要なことだと考えております。その世界の諸地域に暮らす人々の営みを写し出したこの写真は、生徒が世界の多様性を認識し、認め合うことに大変よいきっかけになるのではないかなというふうに考えたのが1点。

それともう1点は、コラム「技能をみがく」ということで23のテーマが掲げられております。その中で、昨今非常に話題になっている自然災害の技能を磨くということで、ハザードマップの読み取り方だとか、防災情報の入手の仕方といった部分も取り上げられているということは非常によいのではないかと考え、帝国書院の教科書がいいかなと考えました。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。それでは、伊藤委員、お願いします。

○伊藤委員 ユニバーサルデザインという考え方があるんですけども、これは、障害のあるなしにかかわらず、全ての生徒が学びやすい状態をつくっていくということですが、全ての生徒の学びを保障するためには、ユニバーサルデザインの視点を取り入れることが大変重要ではないかと思うところです。東京書籍の教科書は、生徒が学習に必要な情報に注目できるように、立体感や陰影のある表現を省いたフラットデザインの文字が使用されています。また、本文中の振り仮名を本文の文字とは異なる色のゴシック体で表記することで読みやすくなっていると思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。それでは、大森委員、お願いします。

○大森委員 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善が新しい指導要領で求められています。その点におきましても、東京書籍の教科書は、グループでの話し合いなど対話的な活動を通じて様々な意見に触れながら自らの考えを深めていかれる「みんなでチャレンジ」が設けられています。このような学習活動を繰り返すことで積極的に社会に参画し、他者と協働しながらよりよい社会を築いていこうとする意欲と態度というものが育まれていくのではないかと思い、東京書籍を挙げました。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はどうでしょうか。よろしいです

か。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる社会科（地理的分野）の教科書の発行者は東京書籍と考えますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○竹内教育長 それでは、東京書籍に決めます。

続きまして、社会科（歴史的分野）の教科書を1者に絞り込んでまいります。社会（歴史的分野）の教科書は、先ほど事務局からの説明にありましたように、学び舎の見本本の提供がございませんでしたので、県の教科用図書調査研究の結果を参考といたします。

では、改めて教科書見本本等、県の教科用図書調査研究の結果を確認していただきながら、お考えをまとめていただく時間を5分ほど取りたいと思います。その後、ご意見を伺いたいと思います。それでは、よろしく願いいたします。

そろそろお時間となりますが、よろしいでしょうか。

それでは、ご意見をいただきたいと思います。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 これは歴史だけに限ったことではないですが、とにかく授業というのは分かりやすい授業、それから生徒にとって学びやすい授業にすることが大事だと考えております。生徒の学びやすさに配慮して授業をつくらなければ、生徒の主体的・対話的で深い学びは実現できません。そういう点で東京書籍の教科書は、学習内容を再確認するとともに、さらに学びを深められるよう「基礎・基本のまとめ」というところと、「まとめの活動」というのが設定されておりまして、学習内容を整理しながら各時代を体感し、その特色を捉えることができるようになっております。また、生徒同士の対話的な活動によって深い学びが生まれるようになっております。よって、私は東京書籍がよいと考えております。

○竹内教育長 ありがとうございます。続きまして、ほかにご意見はございますでしょうか。伊藤委員、お願いします。

○伊藤委員 見方、考え方を働かせるということはとても大事なことだというふうに考えているところです。新学習指導要領では、平和で民主的な国家、社会を築いていくために必要な資質・能力として思考力・判断力・表現力等の育成がうたわれているところです。帝国書院の教科書は、思考力、判断力、表現力等を高められるよう、歴史的な見方、考え方を働かせて時代の特色を説明させる「章の学習を振り返ろう」が掲載されており、このような学習の過程が示されていることは生徒の学びやすさにつながると思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。城田委員、お願いします。

○城田委員 今、伊藤委員が思考力、判断力というキーワードを出して、それが育成されるというところの話をされていたと思うんですけども、私も、その観点から見ると、日本文教出版の教科書も過去の事象に基づいた考え方のデータが掲載された「チャレンジ歴史」というのが掲載されているコラムがあり、それも非常にいいなというふうに考えております。こういった基礎的な資料を基に主体的に考え対話することによって思考力、判断力や表現力というのが高められて、これからの社会を生き抜くためには必要な力が育まれるものではないのかなと思っております。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 同様になりますけれども、とにかく昔から歴史というのは暗記教科で、先生がずっと説明されて黒板にたくさん書かれて、それを子供が一生懸命写して覚えるという授業が多かったわけですが、それではとにかく駄目なんですね。子供が自ら追求していく、探求していく、主体的、対話的で深い学び、そういう授業をつくっていく必要があります。その点、先ほども言いましたけれども、東京書籍の教科書は学習を深める工夫として学習内容を説明したり、話し合い活動をしたりするための「トライ」というのもあるんです。自ら探求する。そういうのが設定されています。また、基礎的な学習内容を確認する「チェック」というのがあるんです、確認する。これも掲載されていますので、設定されたそれぞれの問いにより、主体的・対話的で深い学びが実現できると考えております。それで、私はやはり東京書籍がよいと考えます。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがですか。城田委員、お願いします。

○城田委員 赤坂委員に反抗するわけではないんですけども、深く学ぶというところで考えると、多面的とか多角的に物を考えるということが非常に大切かなと思っております。そういうところを視点に置いて設定された教科書がつくられているのが、帝国書院の教科書もそういった部分では非常に私はいいいのかなということを思います。考え方は同じでありますけれども、やはり自ら学んで考えを深めていく。こういったことはこれからの社会を生き抜く中で大変重要なものであり、いろんな課題を解決するための資質や能力を選択、判断する力というのは生徒たちに育んでもらいたいなという部分では同じなので、

同じようなことも帝国書院には書かれているかなと思って、とりあえず意見として出させていただきました。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はどうでしょうか。大森委員、お願いします。

○大森委員 私も東京書籍を推薦させていただきたいと思います。それは、歴史というものに生徒が興味を持って教科書とともに授業を受けられるかということがとても大切だと思うからです。その点の工夫が「もっと歴史」というコーナーで記載されていて、歴史的事象に対する理解をととても深められるような工夫がされています。これは赤坂委員がおっしゃっていた学習を深める工夫の一つでもあると思います。学習指導要領が求める主体的な学びにも通じますし、さらに知識を深めたり、広げたりしながら学習できる教科書になっているのではないかと思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにはよろしいですか。

それでは、私も発言させていただきます。どの学習にも言えることですが、楽しく学ぶということは、主体的、意欲的に生徒が学習する上での言動力になると考えておまして、その観点から考えますと、東京書籍を推したいというふうに思っております。東京書籍の教科書は、楽しんで歴史の流れを学ぶことができるよう、「歴史へのとびら」に時代を表すイラストが掲載されているんですね。小学校で学習した人物や文化財などがイラストで掲載されていることもありまして、歴史への興味・関心を持って学習に向かうきっかけになることが期待できるかと思ひまして、私は東京書籍を挙げたいと思います。

ほかにかがでしょうか。ご意見も出尽くしたようですが、よろしいですか。

それでは、委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる社会（歴史的分野）の教科書の発行者は東京書籍と考えますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○竹内教育長 それでは、東京書籍に決めます。

それでは、事務局のほうで教科書の入替えをお願いします。

それでは、準備が整いましたので、次に社会（公民的分野）の教科書を1者に絞り込んでまいります。改めて教科書見本を確認しながらお考えをまとめていただく時間を5分ほど取りましてご意見を伺いたいと思います。それでは、よろしく願いいたします。

そろそろ時間となりますが、よろしいでしょうか。

それでは、ご意見をいただきたいと思います。ご意見をよろしく申し上げます。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 私は東京書籍がよいと考えております。東京書籍の教科書をよく見ますと、公民だけでなく、地理、歴史、公民を中学校社会科の教科書として一体的に編集されております。単元全体を貫く探求課題というのがあり、それを補助する探究のステップという問いを軸に単元が構造化されております。そして課題解決的な学習、あるいは主体的・対話的に深められる。こういったものが実現できるように工夫されております。そういうことで、私は東京書籍がよいと考えております。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。城田委員、お願いします。

○城田委員 神奈川県教育ビジョンの中に、教育目標として「たくましく生きる力」というのが示されております。そういった観点から見て、教育出版の教科書は、社会にあふれる様々な情報の真偽を見極めるために取捨選択する必要があるというところで、資質や能力を育てるために「言葉で伝え合おう」というコラムがあります。その中で特に「メディアリテラシーを学ぼう」というコーナーが掲載されています。生徒が情報を活用する際に、留意点等、学習することで情報化社会を生き抜く上での知識、技能を身につけることができるというところで私はいいのかなというふうに思っております。

それともう1点、東京書籍の教科書に18歳に向けての準備というページがありまして、その中で特に強調して「18歳へのステップ」という形で取り上げられている。部分的なことですけれども、そういったことで強調されている、特に18歳を迎える生徒にとっては重要な部分でピックアップされているのがいいのかなと思いました。1者に絞ることになると迷ってしまうところはあるんですけれども、全体的に見て、私としては東京書籍の教科書のほうがいいのかというふうには考えております。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。伊藤委員、お願いします。

○伊藤委員 見通しを持たせるということはとても大事なことで、主体的な学びを導くものだというふうに私は思っています。主体的というのは、自主的ではなくて主体的ということなんですけれども、教育出版の教科書は章ごとに学習内容と章全体の学習課題を示した「第何々章の学習のはじめに」ということが掲載されていまして、このことで学習に困難さのある生徒も章全体の学習の見通しが立ち、興味・関心を持ちながら安心して学習す

ることができると思います。併せて合理的配慮ということについても説明がなされ、また、病院における学校、学級、それから識字学級などについても触れています。

また、東京書籍の教科書は、憲法第9条でハンセン病、アイヌのこと、障害のある人や在日外国人、性の多様性についても説明し、何よりもインクルージョンについて、「みんなでチャレンジ」という欄にコラムを設けています。このことは私は評価できるのではないかなと思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

それでは、私のほうも発言させていただきたいと思います。様々な学習の中で、生徒が実社会で活躍する方々の体験ですとか思いに触れるというのは、勤労を重んじる態度を養う上でとても大切なことであるというふうに考えております。その点から帝国書院の教科書を挙げたいと思っておりますが、帝国書院の教科書は、生徒の勤労感を育むとともに、今取り組んでいる学習が将来につながっているということを生徒自身が実感できるように「先輩たちの選択」というものが掲載されているんですね。職業選択の契機とか社会に出てからの自己実現、また、中学生へのメッセージなどに触れることで、学習する中学生にとっては自分の将来をイメージするよいきっかけになるのではないかと思います。帝国書院を挙げたいと思います。

ほかにご意見はどうでしょうか。大森委員、お願いします。

○大森委員 生徒さんたちが将来一人一人様々な社会的変化を乗り越えていくためには、自分のよさや可能性を理解して、そして他者を尊重し、様々な人と協力することが求められていると感じております。その点において東京書籍の教科書には、特に第1章の3節に「現代社会の見方や考え方」という項目があります。その中で、身近で起きる学校生活の中で起きる問題と非常に関連させながら課題を解決できるような工夫がなされています。学んだ内容がこれから社会に出る生徒さんたちにとって、社会の中でどのように生かされるかをまずここで実感しながら学習することができると思います。様々な社会的変化に適応、対応できる力がまさに育まれるのではないかと感じております。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はございますでしょうか。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 もう一度。教育出版も帝国書院もすばらしい教科書だと思います。ですが、現場の先生方の声の学校単位調査を見ますと、茅ヶ崎の中学校の社会科の先生方が圧倒的に東京書籍を支持されているんですね、8割以上です。茅ヶ崎の先生方の8割以上の先生

が東京書籍がいいとおっしゃっているわけです。これは大きいですね。これはもう本当に尊重しなければいけないことだと私は思っております。我々教育委員というのは、やっぱり現場の先生方の声を真摯に聞いて、そして現場の先生方のお力が十分に発揮できるように支援する。現場の先生方の声を最大限尊重して先生方を応援する。それがよい環境、先生方が働きやすいようなよい環境をつくるというのが我々教育委員の使命だと考えます。ですから、8割以上の茅ヶ崎の先生方が支持する東京書籍をやはり採用すべきだと思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる社会（公民的分野）の教科書の発行者は東京書籍と考えますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○竹内教育長 それでは、東京書籍と決めます。

続きまして、地図の教科書を1者に絞り込んでまいります。改めて教科書見本本を確認しながらお考えをまとめていただく時間を4分間ほど取りご意見を伺いたいと思いますので、よろしくをお願いします。

そろそろお時間となりますが、よろしいでしょうか。

それでは、ご意見を伺いたいと思います。よろしくをお願いします。伊藤委員、お願いします。

○伊藤委員 かながわ教育ビジョンの重点的な取組の中に「共生社会づくりにかかわる人づくり」というのがあります。近年はインクルーシブ教育が推進されているところでございます。帝国書院の教科書は、都道府県名や都道府県庁所在地名を手話で表すコーナー「手話で表してみよう」が設けられており、社会科の学習の中で手話を実践することができるようになっていきます。このような学びの積み重ねによって多様性を認め合い、他者を尊重し相手を思いやる心が育まれていることが期待できます。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はございますか。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 私も地図は帝国書院がよいと考えております。大きさが違うんですね。A4判でつくられていますので、そこが全然違う。内容も日本各地の伝統工芸品や地場産業が絵記号で示されているとか、あるいはペリーの上陸地や石橋山の戦いなど歴史上の出来事

も書かれている。これは東京書籍もなんですけれども、ただ、その情報の内容が、大きいからやっぱり見やすいんですね。地図帳にうわっと引きつける力があります。わくわくどきどきするものに地図帳が仕上がっていると思います。よって、私は帝国書院がよいと考えます。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。大森委員、お願いします。

○大森委員 私も地図帳を考えたときに、その条件の一つとして、生徒さんにとって親しみやすいことがとても大事だと思っています。帝国書院の教科書は地図や写真がとても美しく、鮮明に表現されていると感じました。特に地図専用の特殊な用紙が使われているようで、草色の特殊なインクを加えた5色による多色刷りが施されていて、本当に目に鮮やかで、しかも見やすく、くっきりと印刷されているように見ることができました。また、一体感にもあふれていて、地図、表現によって地形全体の様子も捉えることができる工夫がされているので、生徒が活用しやすいと思いました。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。城田委員、お願いします。

○城田委員 地理の教科書のときにも発言したのと同じようにはなってしまうんですけども、やはり近年頻発する自然災害、地震や台風、そして茅ヶ崎の場合は豪雨ですね。昨年もありましたけれども、そういった自然災害を考えたときに防災意識を高めるということは非常に重要なことだというふうに思っております。その中で帝国書院の教科書は、防災をテーマにする教材が多く掲載されているというところがいいなというふうに思っております。災害の種類や分布の理解というのは重要ですし、その中で地形図やハザードマップの見方を身につけるといことは、地域社会の一員として防災の意識を高めるということでも非常にいい教科書ではないのかなと思っております。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

それでは、私のほうから発言させていただきたいと思います。委員の皆様は帝国書院を推されている方が多いわけですが、私も大変悩みました。帝国書院とそれから東京書籍を比べてみまして、それぞれのよさがあるなというところでもございましたものですから、2者を今回は挙げたいと思っております。まず社会科の学習におきまして、社会的事象を多面的、多角的に考察するということは、質が高く深い学びを実現するためには欠かせない学習の在り方であると思います。その点で、東京書籍の教科書は資料集としても活用で

きるほど資料が豊富に掲載されているんですね。様々な観点から社会的事象を総合的に捉えまして考察し、そして議論することで深い学びにつながっていくことが期待できています。また、ジャンプとして記載されている部分には、関連する資料の参照ページが示されておりまして、複数の資料から学習を広げたり、深めたりしていかれるというふうに考えています。

また、別の観点から帝国書院についても挙げてまいりたいと思います。帝国書院の教科書は、学習活動を通して地理的分野の基礎的な技能を身につけていかれるように随所に地図活用のコーナーが掲載されているんです。この地図活用には、生徒が主体的に取り組みながら地理的思考を深めていかれるような問いや課題が設けられているんです。このような学習活動の積み重ねによりまして資料活用能力を高めたり、地理的な見方、考え方を身につけたりすることができるのではないかと思います。観点の違いがありますが、両者とも茅ヶ崎の生徒にとって効果のある学習につながるものというふうに考えました。

ほかにご意見はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる地図の教科書の発行者は帝国書院と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 それでは、帝国書院に決めます。

続きまして、数学の教科書を1者に絞り込んでまいりたいと思います。改めて教科書見本を確認していただきながらお考えをまとめていただくよう時間を5分ほど取りましてご意見を伺いたいと思います。では、よろしく願いいたします。

それでは、数学についてご意見をいただきたいと思います。

○竹内教育長 そろそろお時間となりますが、よろしいですか。

それでは、ご意見をいただきたいと思います。よろしく願いします。城田委員、お願いします。

○城田委員 私は東京書籍の教科書がいいなというふうに思います。その理由としましては、各単元において、学習のまとめりに「Q考えてみよう」、「Q調べてみよう」、「Q説明してみよう」というようなコーナーが設けられた補助問題が発問されているということがいいなというふうに思います。このことにより生徒は見通しを持って学習に取り組むことができ、主体的に学ぶ態度を育むことにつながっていくというふうに思いますし、茅ヶ崎市教育基本計画に示してあります質の高い学びの実現につながるのではないかと

というふうに期待をしたいなというふうに思って選ばせていただきました。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。伊藤委員、お願いします。

○伊藤委員 数学の学習に主体的に取り組む意欲や態度を育むためには、日常生活や他教科等の学習場面で数学が生かされることに気づき、そのよさを実感することが大切だと考えます。ただ暗記するだけの科目ではないということだと思います。大日本図書の教科書は、身近な生活場面や他教科とのつながり、様々な職業と数学との関連についての紹介が多数掲載されており、数学の有用性に気づき、積極的に数学を活用しようとする態度を養うことにつながるのではないかと思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。大森委員、お願いします。

○大森委員 教科書を見やすさ、読みやすさという点で見ると、どの教科書も、ユニバーサルデザインの視点から文字の色使いやフォントなど様々な工夫が見られると感じました。その中でも特に東京書籍の教科書は、問いや解き方を罫線で囲むなどしてまとまりごとに示したり、数式や文章の行間を広げたりするだけでなく、余計な情報やデザインを排したとてもシンプルなレイアウトになっています。これは全ての生徒の学びやすさにつながるのではないかと思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はございますか。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 近年の教育研究の結果によりますと、小学校と中学校の間で算数、数学の学習に対する意識とかやる気に差があるんですね。中学生になりますと、数学の学習意欲について肯定的な回答をする割合が低下する傾向が見られます。中学になると難しい、分からない、数学は嫌いだと、数学嫌いの子が増えているという現実があるわけです。こうした現状を踏まえて考えますと、東京書籍の教科書は1章の前に0章というのをつくっているんです。0章というのをつくって、小学校から中学校へという「算数から数学へ」という項目をつくって、小学校の算数と中学校の数学をつなぐ単元として第1学年に設定されています。これは驚きです。そして、中1の生徒が違和感なく中学の数学の授業に取り組むようにされているわけですね。非常に子供の実態に応じた教科書がつけられていると思います。また、算数の学習を生かし、数学的活動の楽しさを実感しながら学び方を身につけられるようにもなっております。よって、私は東京書籍がよいと考えます。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかによろしいでしょうか。

それでは、私のほうで発言させていただきます。新学習指導要領が目指します主体的・対話的で深い学びや日常生活や社会の事象の中から、自らが疑問や問題を見いだすことから始まると考えております。その観点から見まして東京書籍の教科書は、各章の初めのページにイラストの吹き出しでの簡潔な言葉による問いかけや関連する絵、写真などの資料を掲載するなど、生徒の疑問を引き出しやすくするような工夫が見られます。生徒が抱いた疑問を仲間と対話しながら解決していくことでより学習を深められるのではないかと思います。東京書籍の教科書を挙げております。

ほかにご意見はいかがでしょうか。よろしいですか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる数学の教科書の発行者は東京書籍と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 それでは、東京書籍に決めます。

続きまして、理科の教科書を1者に絞り込んでまいりたいと思います。改めまして教科書見本本を確認していただきながらお考えをまとめていただく時間をこれより5分ほど取りましてご意見を伺いたいと思います。それでは、よろしく願いいたします。

それでは、そろそろお時間ですが、よろしいでしょうか。

それでは、ご意見を伺いたいと思います。よろしく願いします。伊藤委員、お願いします。

○伊藤委員 観察、実験を行う際には安全性への配慮は必要不可欠です。学校図書の教科書は、安全に配慮できるよう実験で行ってはいけないことが分かりやすく示されていると思います。また、全ての生徒が実験、観察方法を正しく理解し、安全に取り組むことができるように、一つ一つの操作を図やイラストを使って説明するなどの工夫が見られていると思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 先ほどの数学もそうですが、理科でも学び続ける意欲、それと確かな学力です。この2つをやっぱり育てていくことが大事だろうと思います。その点、東京書籍の教科書は、各章の初めと終わりに設定している「Before & After」というコーナーがあるんですが、そこで同じ問い、同じ問題を設けて、単元の学習を通して何が分かったのか

を実感できるようにしてあります。分かったことが実感できるから学習意欲が向上するんですね、やる気になってくるわけです。そのような工夫がされているのがいいなと思います。よって、私は東京書籍がよいと考えます。

○竹内教育長 ありがとうございます。続きまして、ほかにご意見はございませんでしょうか。大森委員、お願いします。

○大森委員 今、赤坂委員のご発言の中に学び続ける意欲が大事とおっしゃっていましたが、私も、学びというのは継続するものであると考えています。生徒さんたちが学習したことを振り返ったり、これまで学習したこととこれから学習する内容との関連を意識して学習を進めることも大切になるのではないかと思います。そこで、大日本図書の教科書は、これまで学習したこととこれから学習することが単元の初めのページや章の初めに、小学校、中学校での学びの継続がイメージしやすいように大きな写真とともに添えられていて、前に学んだ学習のことが改めて生徒さんたちに分かるように示されているように感じることができました。大日本図書を推させていただきます。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。城田委員、お願いします。

○城田委員 私も大日本図書を推したいと思います。まず1点目のその理由としまして、学校単位調査の結果を見てみますと、やはり多くの学校の先生方が支持をしているということがまず1点大きいのかなということです。これまで使用していた教科書の実績というものもあると思いますけれども、まずその点を評価したいというところです。あと、私としては、大日本図書の中でいいなと思ったのは、中学3年間を通して科学的に研究する力を育成するところの観点から、全学年ともに観察や実験等のページにおいて、「問題を見つけよう」、「計画を立てよう」、「結果を考えてみよう」、「振り返ろう」というようなものが設定されています。こういったところもいいのかなというところです。さらに、1年生の巻末には探求の進め方という形で丁寧に説明されているというところで、小学校から中学校への学習のスムーズな対応ができるのかなというところもいいなと思ったところでございます。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかによろしいでしょうか。

それでは、私のほうからも発言させていただきます。かながわ教育ビジョンの教育目標の一つに「社会とかかわる力」を育むという視点が示されています。この視点から考えまして、私は大日本図書を挙げたいなと思いました。大日本図書の教科書には、コラム、

「Professional」ですとか「くらしの中の理科」が掲載されておりまして、学習内容が社会や日常生活につながっていることに気づくことができるように、理科の学習内容に関連のある職業の話題ですとか、理科と科学技術との関連などについて掲載されています。これは、社会との関わりの中で自己を成長させ社会に貢献できる力を育てるよう配慮されているものだと思っております。また、巻頭ページに茅ヶ崎市出身の野口宇宙飛行士が掲載されていることも、本市の中学生にとって夢や希望を抱くきっかけになることが期待できるかなと思ひまして、大日本図書の教科書を推したいと思ひます。

ほかにご意見はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる理科の教科書の発行者は大日本図書と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 それでは、大日本図書の教科書と決めます。

それでは、事務局のほうで教科書の入替えをお願いいたします。

それでは、このまま15分間休憩を取りたいと思ひます。委員の皆様、しばらくの間休憩をお願いいたします。

午後 2 時49分休憩

午後 3 時00分再開

○竹内教育長 それでは、続きまして、音楽（一般）の教科書を1者に絞り込んでまいりたいと思ひます。改めて教科書見本本を確認していただきながらお考えをまとめていただく時間を4分ほど取りたいと思ひます。その後ご意見を伺いたいと思ひますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、お時間となりましたが、よろしいでしょうか。

では、ご意見を伺いたいと思ひます。よろしく申し上げます。城田委員、お願いします。

○城田委員 情報化社会を生きる力として公共のルールやモラルを厳守するという意識はとても大切なことだというふうに思ひます。そんな中、教育芸術社の教科書は、特集としまして「ルールを守って音楽を楽しもう！」という特集がございます。この中で挙げられている著作権というものについて、生徒の実態や実生活に合わせた形で、漫画を使って分かりやすく示されているというところがいいなと思ひます。そして最後に、調べたり、話し合ってみましょうというように設問を投げかけていて、こういった設問をみんな

で調べたり、話し合ったりすることによって気づきが生まれ、著作物や著作者の創造性を尊重する態度というのも育成されるというところで私はいいなと思いました。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。伊藤委員、お願いします。

○伊藤委員 先ほども、見通しを持たせるということはとても大事なことだというお話をさせていただきましたけれども、教育芸術社の教科書は、1年間の学習内容が新学習指導要領に示されている育成を目指す資質・能力と対応して分かりやすく整理され、見開きの一覧表で示されています。また、学習内容と各教材との関連度が色の濃さで表されています。どの教材で何を学び、どのような力がつくのかを理解した上で学習に取り組むことができ、学習意欲の向上が期待できると思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。それでは、ほかにご意見はいかがでしょうか。大森委員、お願いします。

○大森委員 私は、教育出版社の教科書について触れさせていただきたいと思います。授業づくりについては、新学習指導要領に示されている、先ほどから申し上げている主体的・対話的で深い学びを授業の中で生かしていくことが大切であると思っております。音楽についても、音楽的な見方や考え方を通して生徒さんたちは一緒に協働しながら、ご自分たちの思考や判断をフル回転して、一連の学習課程の中に自分たちは大切にしているんだということをもう一度確認する。そういう意味では、音楽というのは子供たちの心にとっても響くのではないかと思います。教育出版の教科書は「話し合おう」というところで、自分や他人の気づきや考えを記録できる欄があります。そこで自分の考えやイメージを言葉で表現したり、また、発表や話し合いを通して自分の考えを他者と共有したり交流したりすることに役立ち、まさに学びを深める、学びを広げるという体験ができるのではないかと思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 今、大森委員から、気づきや考えを表現し、交流する活動の大切さについての意見が出されましたけれども、教育芸術社の教科書にも「深めよう！音楽」というコーナーがございまして、そこで音楽の構成や曲想の変化、表現の工夫について感じ取ったり考えたりしながら、他者と交流する活動が設定できるようになっております。生徒が学び合い、深め合うことができる授業を展開していくことは、茅ヶ崎市教育基本計画の施策に

も掲げられております学び続ける意欲と確かな学力を育てる学校教育の推進にもつながるものではないかなと思っております。よって、私は教育芸術社がいいのではないかと考えております。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかによろしいでしょうか。

それでは、私のほうも発言させていただきます。先ほども申し上げましたけれども、かながわ教育ビジョンの教育目標の一つでございます「社会とかかわる力」を育むという視点が大変大事なかなと思います。その点から考えますと、教育芸術社の教科書は、音楽と社会との関連を意識することができるように、音楽に関する様々な分野で活躍する著名人がこのように巻頭のところで載ってございます。こうした見開きの写真で紹介されておりますが、また、生活や社会に音楽がどのように役立っているのかを実感を持って理解できるよう意図しまして、生活や社会の中の音楽の特集のページが設けられていると感じました。これらの学習を通しまして、社会と主体的に関わる力を育むことが期待されるということで、教育芸術社を挙げたいと思います。

ほかにご意見はいかがでしょうか。特にございませんか。

それでは、委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる音楽（一般）の教科書の発行者は教育芸術社と考えますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○竹内教育長 それでは、教育芸術社と決めます。

続きまして、音楽（器楽合奏）の教科書を1者に絞り込んでまいりたいと思います。改めまして、教科書見本を確認していただきながらお考えをまとめていただく時間を4分間ほど取りたいと思いますので、その後ご意見を伺いたいです。それでは、よろしくお願いたします。

それでは、そろそろお時間となりますが、よろしいでしょうか。

それでは、ご意見を伺いたいです。いかがでしょうか。

それでは、私のほうから発言させていただきたいと思います。私は、大変悩みました。やはりこの2者ともにそれぞれのよさがあるなと思いましたものですから、あえて2者を挙げさせていただきたいと思います。教育出版の教科書は、各楽器の導入の部分で、楽器の概説ですとか演奏家からのメッセージが掲載されているんですね。楽器の歴史的、文化的な背景に触れたり、楽器の魅力や演奏家の思いを感じ取ったりすることで音楽や音楽文化への新たな気づきが生まれてくるものと思います。このことは、音楽を愛好する心情を

育むことや音楽に対する感性を豊かにしていくことにつながるものと思ひまして、教育出版をまずご紹介したいと思ひます。

続きまして、もう1者でございますが、教育芸術社についてお話をしたいと思ひます。生活や社会の中の音楽と豊かに関わる資質・能力というのは生涯にわたって心豊かな生活を営む上でとても大切なことだというふうに考えています。その点で、教育芸術社の教科書は、巻頭に「音楽ってなんだろう？」というメッセージとともに、世界各国の様々な楽器を演奏する人々の写真が掲載されているんです。これは、人が楽器を演奏するというところにどういう意味があるのかということを考え、生活や社会と音楽とのつながりを意識することを促すきっかけになるのではないかと思ひまして、これについても挙げたいと思ひました。2者挙げる形でございます。

ほかにご意見はいかがでしょうか。伊藤委員、お願いします。

○伊藤委員 まず教育出版の教科書ですけれども、最後のところに、この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待を込め、税金によって無償で支給されていますと書いてあるんですね。こういうのはすごく私は大事なことだと。税金によって育てられているという認識を生徒さんに持っていただくことは大事なことかなと思うところです。

さて、もう1冊、教育芸術社の教科書を見ますと、やはり最後のところに「ユニバーサルデザインへの取り組み」ということで、全ての生徒にとって使いやすくということが書いてあるんですね。全ての生徒にとって使いやすくという考え方は、やはり非常に大事な考え方だと思います。また、教科書に込めた思いということも書いてあるんですね。こういうことが書いてあるということは大事なことだなというふうに思うところです。

さて、新学習指導要領には、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた工夫を行うように配慮することが示されています。教育芸術社の教科書は、演奏の技法を視覚的に捉えられるよう、例えばギターコードにイラストで弦を押さえる位置を青丸で表示したり、琴の演奏を示す写真で引く弦に色をつけて表示したりするなどの工夫がされています。視覚的な手がかりによって全ての生徒にとって理解しやすくなっている。一人一人の学びの保障になっているというふうに思ひます。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。城田委員、お願いします。

○城田委員 ただいま伊藤委員が発言されました困難さに応じた工夫というところでつけ加えさせていただきたいのは、教育芸術社の教科書でありまして、リコーダーの学習とい

うところ、今、伊藤委員がお話しされた前のページにあるんですけども、そこもLESSON 1からLESSON 4ということでステップ式に掲載されているということで、生徒が自分の技能をどのくらい習得しているかというのを把握できるのかなということ、そして、それが無理なく学習を積み重ねていくことにつながっていくのではないのかなというふうに思いました。

また、リコーダーを演奏する際のアドバイスがQ&A形式で示されているというのも非常に分かりやすいのかなというところです。小学校から中学校へのスムーズな接続という観点からも、このような段階的な構成というものがポイントとして表示されているということは大変分かりやすいのかなと思っております。ということで教育芸術社の教科書を推したいなというふうに思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 子供にとって親しみの持てる教材が子供の学びに向かう意欲を高める、音楽へのやる気を高めることにつながると考えています。教材が非常に重要であると思っております。その点、教育芸術社の教科書は、有名なバンドの楽曲や「魔女の宅急便」とか「もののけ姫」とか、アニメーション映画の楽曲を使っておるんですね。子供たちにとって非常になじみのある楽曲が多く載せられている。そこがいいなというふうに感じました。またアンサンブルでは、楽器編成の異なる合奏曲が収められておりまして、様々な楽器の音色や響きの違いを味わいながら器楽表現を楽しむことができるようになっております。よって、私は教育芸術社がよいと考えております。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかはいかがでしょう。大森委員、お願いします。

○大森委員 度々申し上げますけれども、新学習指導要領で重要に示されていることは、生徒さんたちの主体的・対話的で深い学びという言葉が何度も何度も私も先ほどから言わせていただいておりますが、多分現場の先生方はそれを具体的に子供たちの中に落とし込んでいくということはとても工夫されていると思います。その工夫が施されているのが1つ教科書であると思えますと、教育芸術社の教科書は「深めよう！音楽」というコーナーがありますけれども、そこに生徒役のキャラクターの吹き出しが描かれていて、音楽の特徴や表現の工夫についての話合いの観点の例が示されています。これは、生徒さんたちが仲間と一緒に音楽表現をまさに工夫していく、それから、自分の思いや相手の気持ちに気づ

く、共有、共感するということの学びの場にすごく役立つのではないかと、有効な手がかりになるのではないかとと思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はございませんか。

ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

それでは、委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる音楽（器楽合奏）の教科書の発行者は教育芸術社と考えますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○竹内教育長 それでは、教育芸術社と決めます。

続きまして、美術の教科書を1者に絞り込んでまいりたいと思います。改めまして教科書見本本を確認していただきながらお考えをまとめていただく時間を4分間ほど取りたいと思います。その後ご意見を伺いたいと思いますので、よろしくをお願いします。

それでは、お時間となりましたが、よろしいでしょうか。

では、ご意見を伺いたいと思います。よろしくをお願いします。伊藤委員、お願いします。

○伊藤委員 美術が社会や生活の中でどのように生かされているかを知ることは、学びに向かう力の育成につながるというふうに思います。日本文教出版の教科書は、美術の学習の意味や目的を伝える著明人の「学びの言葉」が掲載されており、美術には心を落ち着かせる力や感動をもたらす力がある等と示されています。これは、社会や生活における美術の重要性を実感することにつながると思います。また、様々な作家の活動が紹介されており、多様性とか共生についての意識も高められるというふうに思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

それでは、私のほうから発言させていただきます。新学習指導要領には、美術の学習では発想や構想の学習と鑑賞の学習との関連を図ることで思考力、判断力、表現力等の育成につながると示されています。この観点から、私は光村図書の教科書を挙げたいと思いました。光村図書の教科書は、表現と鑑賞の学習内容を相互に関連づけて学べるよう工夫されていますので、創造的に思考する力を育成できるというふうに考えました。

それでは、ほかにご意見はいかがでしょう。大森委員、お願いします。

○大森委員 様々な発想によって作られた作家や生徒の作品から多様な価値観に触れて、作者の表現の意図や工夫を感じ取ることは、互いの価値観ということを尊重することにもつながりますし、創造性ということにもつながると考えています。光村図書の教科書には

茅ヶ崎市の生徒さんの作品が記載されていて、生徒さんたちが学びの中で、より身近な存在の作品に触れるということ自体がとても主体的であり、学習に取り組む意欲、態度につながるのではないかと考えて、光村図書を推させていただきます。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 光村はいいですね、光村図書は私も推します。ただ、もう1者、私は推したいと思います。今、茅ヶ崎市の生徒作品が光村にあると出されましたけれども、日本文教出版の教科書にも茅ヶ崎市の生徒の作品が掲載されているんですね。これからの時代というのは、豊かな発想から構想を練ったり、他者と協働して新たな価値を創造したりする力が求められていると考えるんですけれども、同世代の優れた多くの作品に触れることで、私も頑張ってみようとする意欲が高まったり、あるいは複数の視点で仲間と話し合うことで発想や構想力が豊かになったりするのではないかなと思います。よって、私は光村と日本文教出版の2者をいいと考えております。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。城田委員、お願いします。

○城田委員 これからの時代に求められる資質や能力を育むためには、各教科のつながりというのを大切にされたカリキュラムマネジメントというのが重要ではないのかなというふうに考えております。そんな中で光村図書の教科書は、美術の評価内容について、国語科とのつながり、社会科とのつながりだとか家庭科とのつながりというふうに関連を意識し、教科横断的な学びが実現できるように工夫されているというところで、これは非常にいいなというふうに思い、光村図書がいいかと思っております。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる美術の教科書の発行者は光村図書と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 それでは、光村図書に決めます。

続きまして、保健体育の教科書を1者に絞り込んでまいりたいと思います。改めて教科書見本を確認していただきながらお考えをまとめていただく時間を4分ほど取りご意見を伺いたいと思います。それでは、よろしく願いいたします。

それでは、お時間となりましたので、よろしいでしょうか。

それでは、ご意見を伺いたいと思います。よろしく申し上げます。城田委員、お願いします。

○城田委員 これまではどちらかという、保健の学習というのは知識を身につけるとい  
うのが主眼に置かれていたかなと思っております。これからは実生活に生かされるよう  
に、自ら考え判断できるような能力を身につける学習が必要かなと思います。そういった  
考えから見てみますと、学研教育みらいの教科書は、実技の心肺蘇生法の手順やAEDの  
操作について、フローチャートやポイントのチェックシートといったものを活用し、写真  
やイラストを用いて、生徒にとって知識、技能を習得するための工夫というのがよくされ  
ていると思って、学研教育みらいの教科書がいいなと思いました。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。伊藤委員、お  
願いします。

○伊藤委員 体育というのは、ただ運動神経がいいとかそういうことだけではなくて、や  
はりスポーツを通してお互いに認め合って協力し合い、連携していくというようなことも  
大事な面にはなっているかなとは思っております。共生社会ということが言われている  
んですけども、新学習指導要領でも体育や技能の程度、年齢や性別、障害の有無等にか  
かわらず、運動やスポーツの楽しみ方を共有できるように共生の視点を大切にすること  
が求められています。大修館書店の教科書は、巻頭の口絵に、生涯にわたってスポーツを  
実践する喜びや全ての人々が互いに分かり合い支え合うことの大切さが、「共に生きる」と  
大きな字で書かれているんですけども、これは金澤さんの書ですけども、こういうよ  
うに示されていて、生徒が運動やスポーツの多様な楽しみ方に気づくことができる工夫が  
なされていると思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。赤坂委員、お  
願いします。

○赤坂委員 どの授業でもそうなんですけれども、教師からの一方的に伝えられた知識、  
これはもう定着しないで浅い学びとなってしまいます。一方的な先生の説明では子供の心  
に残らないんですよ。一方、学んだ知識から自分の自らの想像力を働かせて新たな知識  
を獲得していく学習、何度も言っていますが、自ら探求していく学習こそが一人一人のよ  
り深く豊かな学びにつながっていくと考えております。そういう観点から見まして、学研  
教育みらいの教科書は、発展的な課題について自ら探求することができるよう「情報サプ

り」というのを設けています。生徒が主体的に取り組めるような工夫がされていていいなと思います。よって、私は学研教育みらいがよいと思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。大森委員、お願いします。

○大森委員 ただいま赤坂委員から、一方的に知識を教えられるのではなくて、生徒さんたちが自ら主体的に学んでいこうというお話もありました。主体的に生徒さんが取り組む工夫については、大日本図書の教科書にも様々な情報が幅広く得られるように、項目において学習内容と関連深い話題や読み物がトピックスとして掲載されていて、生徒さんたちの意欲を引き出す工夫という点ではとても評価ができるのではないかなと思い、大日本図書も推薦させていただきます。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。

それでは、私のほうも発言させていただきます。どの教科の学習においても言えることだと思いますけれども、学習した後に振り返りの場を設定することというのは、まずは学習内容の定着と、それから次の学びへの意欲につながることから、各教科書とも振り返りに工夫が見られるなと思いました。その中でも特に学研教育みらいの教科書は、学習を通して理解したこととか仲間の考えを書き留めることができる「まとめる・深める」のコーナーが設けられておりまして、活動と振り返りを通して深い学びの実現が図られるのではないかと思います。その点から学研教育みらいを挙げたいと思います。

ほかにご意見はいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる保健体育の教科書の発行者は学研教育みらいと考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 それでは、学研教育みらいに決めます。

それでは、事務局のほうで教科書の入替えをまたお願いいたします。

それでは、準備が整いましたので、続きまして、技術・家庭（技術分野）の教科書を1者に絞り込んでまいりたいと思います。改めて教科書見本を確認していただきながらお考えをまとめていただく時間を4分間ほど取りましてご意見を伺いたいと思います。それでは、よろしく申し上げます。

それでは、そろそろ時間となりますが、よろしいでしょうか。

では、ご意見を伺いたいと思います。よろしく申し上げます。城田委員、お願いします

す。

○城田委員 技術の分野において、ものづくりというものは非常に重要なことであるというふうに思っております。習得した知識や技能を生かしてよりよいものをつくるということは、目指すところではあると思います。ただ、その前に安全というものが非常に重要ではないのかなと思っております。私もものづくりに携わっております。非常に物づくりに興味を持つお子様が減っているというのを危惧しているところでありますけれども、まずその前に、安全というものに主眼を置くべきではないかと思っております。昨日も福島で大変痛ましい爆発事故がありましたけれども、これも安全という部分の、多分見落としだとかそういったところで発生したものだというふうに思っております。そんな中で東京書籍の教科書は、巻頭に作業を安全に楽しく進めるためにということで、3つの視点で、安全な環境、安全な行動、安全な作業と分かりやすくイラストを交えて掲載されております。1年生の早い段階にこういったことを学ぶということは、将来、社会に出てからも大変役に立つものであり、こういったものがベースになって安全に授業を進めていくということでも非常にいいのかなと思っております。よって、東京書籍の教科書がこういったところも含めていいのかなと思えました。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 技術分野におきましても、問題解決的な学習は大変効果的である、有効であると考えております。その点、教育図書の教科書は巻末の資料に各編に対応したワークシートが設けられているんです。実習した体験を生かしながら、生徒自ら課題を見つけて設計、計画ができるように工夫されているんですね。これは生徒の主体的な学習の手助けになると思います。いい問題解決的な学習ができると思います。よって、私は教育図書がよいと考えます。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はございませんか。伊藤委員、お願いします。

○伊藤委員 教育図書の教科書の教材取材、撮影協力には特別支援学校も入っているんですね。共生社会ということを考えるのであれば、こういうことも大事なことかなとは思っています。そして、誰にとっても分かりやすく学びやすい学習環境を整えることは、配慮を必要とする生徒はもとより全ての生徒が学習に取り組むために必要なことだというふうに考えます。東京書籍の教科書は、学習内容に即したパラパラ漫画を掲載して、技術と

人の生活のつながりを感じられるような工夫がなされています。これは、全ての生徒が興味・関心を持ちながら教科書を開くきっかけになると思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。大森委員、お願いします。

○大森委員 生徒さんたちは、授業で学ぶ知識や技能というのは、実際の生活の中でどのように生かされていくのかというのを理解することが学習内容をますます身近なこととして捉えて、そして意欲につながるのではないかと考えております。その点におきまして東京書籍の教科書は、ページの下の部分に本文や資料で紹介されている技術について応用や豆知識としての記述があって、自分が学んでいることと社会がつながっていることを実感できる、よりよい主体的な学習につながる工夫がされていると思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。

それでは、私のほうから意見を述べさせていただきます。今、大森委員よりお話がございました、実際の生活とのつながりについての意見をお聞きしまして、身の回りの様々な対象や事象に目を向けて学習していることとのつながりを感じるということは、技術への興味・関心を高めていく上で重要な視点であると考えています。その点で、東京書籍の教科書は、各編の初めに「発見！技術の最適化」が掲載されておりまして、これから学ぶことが実際の社会でどのように生かされているかを知ることができます。これは技術の見方、考え方を常に働かせて学習に取り組むことができるだけでなく、技術の応用への興味・関心を育むことにもつながると思います。そういうことで東京書籍を挙げたいと思います。

ほかにご意見はございませんでしょうか。ご意見も出尽くしたようですが、よろしいですか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる技術・家庭（技術分野）の教科書の発行者は東京書籍と考えますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○竹内教育長 それでは、東京書籍に決めます。

続きまして、技術・家庭（家庭分野）の教科書を1者に絞り込んでまいります。改めて教科書見本本を確認していただきながらお考えをまとめていただく時間を4分間ほど取りご意見を伺いたいと思います。それでは、よろしく願いいたします。

それでは、お時間となりましたが、よろしいでしょうか。

それでは、ご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 家庭分野では、自立した消費者とか持続可能な社会の実現に向けまして、これからの社会を担う主体者であるという意識を生徒が持てるようにすることが大事であると考えております。その点、教育図書の教科書は、これからの社会に必要な知識であるエシカル消費、人や社会とか環境に配慮した消費行動のエシカル消費やフェアトレードなどの環境に関するトピックが紹介されていて、持続可能な社会の実現に関する内容が非常に充実しております。このことは、かながわ教育ビジョンの教育目標に示された「たくましく生きる力」も育むことにつながると思います。よって、私は教育図書がよいと考えております。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

それでは、私のほうで発言させていただきます。新学習指導要領に示されております主体的・対話的で深い学びの実現には、学習した知識や技能を実生活の中で活用していく必要性を感じ、自ら新たな課題を見いだすサイクルが必要だと考えています。その点から考えますと、東京書籍の教科書を挙げたいと思います。東京書籍の教科書は、各編の最後に「学習のまとめ」が設けられておりまして、生徒が自分の理解度を確認したり、学んだ知識を生活の中でどのように生かすかを考えたりすることができるという高い学習効果が期待されます。そのようなことから東京書籍を挙げたいと思います。

ほかにいかがでしょうか。伊藤委員、お願いします。

○伊藤委員 開隆堂出版の教科書は、特別支援教育の視点から、内容が読み取りやすくなるように文章や紙面の配置などに配慮していますということが書いてあるんですね。通常の学級の中にも6.5%は支援の必要なお子さんがいるということが言われているわけですから、やはりこういう発想はとても大事なことかなと考えております。そこで、中学校で身につけるべき知識や技能は、将来の生活において確実に必要となる内容なわけですから、そのためにも学習内容や実習の手順が分かりやすく、興味・関心が持てるよう工夫することが重要だと思います。開隆堂の教科書は、調理実習の手順を横1列に並べて示しているため作業の流れが分かりやすく、調理中の写真も大きいので、調理をしながらでも確認しやすくなっています。これは、作業に見通しを持ち意欲的に実習に参加できるだけでなく、知識、技能の確実な定着にも有効だというふうに考えるところです。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。大森委員、お

願います。

○大森委員 技術・家庭科というのは、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫して、創造する資質とか能力の育成を目指す教科ではないかと考えています。そのためには、生徒さんたちが体験活動を通して、その体験を充実させるということがとても重要になるのではないかと思います。そこで、東京書籍の教科書は、調理の実習例がとてもたくさん出てきます。特に献立で調理する場合の手順、そこには主菜や副菜が組み合わさっていて命のつながる提示がされているように思っていることと、とてもおもしろいのが、「これだけはできるようになろう！」というコーナーがありまして、このぐらいだったら学生さん、生徒さんができるのではないかな、やってみようという気持ちになれるような、とても工夫がされていて、教科書でありながら自分の命を守る調理ということに非常に意欲を持って実習や学習に取り組めるようになることが期待できると思いました。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。城田委員、願います。

○城田委員 新学習指導要領では、小・中学校のそれぞれの学習内容の系統性を明確にしていくことということが示されております。そういった中で東京書籍の教科書は、ガイダンスのページにおいて、小学校で学んだ内容、それと中学校で学ぶ内容が併記されておりまして、小学校で学んだ基礎的・基本的な知識や技術を基盤にして、中学校での学習をどういうふうに取り込んでいくのかということが明確になっているというところが、中学3年間の生徒さんたちの学習意欲を楽しみにするというような部分でも非常にいいのかなと思ひまして、東京書籍の教科書がいいなと思ひました。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はございませんか。

ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

それでは、委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる技術・家庭（家庭分野）の教科書の発行者は東京書籍と考えますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○竹内教育長 それでは、東京書籍に決めます。

続きまして、英語の教科書を1者に絞り込んでまいります。改めて教科書見本本を確認していただきながらお考えをまとめていただく時間を5分ほど取りましてご意見を伺いたいと思います。それでは、よろしく願います。

それでは、お時間となりますが、よろしいでしょうか。

では、ご意見をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。伊藤委員、お願いします。

○伊藤委員 授業で使用する教材については、配慮を必要とする生徒に対する特別支援教育の視点だけでなく、全ての子供たちにとって取り組みやすいユニバーサルデザインの視点が重要となります。どの発行者も両方の視点を取り入れていると思いますが、開隆堂の教科書は、全ての生徒にとって必要な情報を把握しやすく学びやすくなるように、1ページ当たりの文字量や図版の色調を抑えた紙面づくりとなっています。また、手書き文字に近い欧文書体が使用されるなど、支援を必要とする生徒に対しての配慮がよくなされており、教材への興味や理解が深まることにつながると思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 新学習指導要領には、「コミュニケーションを行う際は、その目的や場面、状況を意識する必要があり、その上で簡単な情報や考えなどを理解したり、理解したことを活用して表現したり伝え合ったりすることが重要になってくる」と示されております。その点から考えて、三省堂の教科書には「Take Action!」というコーナーがございます。例えば海外からの旅行者が道順を教えてくださいませんかと言いかけてくるわけです。こういう実際の場面に応じてグループやペアで対話的な活動を行い、自分が必要な情報を聞き取ったり、自分の考えや気持ちを伝えたりする、体験を通して学ぶことができるようになっております。体験を通して学ぶという中で実践的なコミュニケーション能力が身についていくということが期待されます、考えられます。よって、私は三省堂がよいと考えております。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいただけますでしょうか。大森委員、お願いします。

○大森委員 小学校では、外国語が教科化されて、授業数も増えていると伺っています。外国語教育が今後拡充される中で、小学校で学んだ内容をどのように中学校の英語教育につなげていくか、定着を図っていくかが今後とても重要であると考えます。そのような中で東京書籍の教科書は、小学校の学習から円滑な接続が図れるよう、1年生の学習は、小学校で学習した題材と基礎力を育む内容から始まっていて、全ての生徒にとってスムーズな中学校英語のスタートが切れるのではないかと感じました。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見を伺えますでしょうか。城田委員、

お願いします。

○城田委員 英語では、文章を理解したり、発表活動を行ったりする際に、辞書を適切に活用するということが非常に重要なことではないのかなと思っております。効果的な辞書の使い方の使用は、主体的で自立的な学習者の育成の観点からも大切な要素ではあると考えます。そういった中で見ますと、東京書籍の教科書は、1年生の教科書の「学びのコーナー」というところに、辞書の使い方というのが2回にわたって設けられています。こういったところを活用することによって辞書の活用への期待というのが図れるのかなと思っております。そういった観点からも東京書籍の教科書がいいかなと思いました。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

では、私のほうから発言させていただきます。茅ヶ崎市では、教員をホノルル市に派遣しまして、両市の学校間交流を進める授業を行ってまいりました。東京書籍の教科書は、1年生の「Friend in New Zealand」の単元において、ニュージーランドの姉妹校とインターネットで電話する場面が掲載されています。これは、ホノルル市と交流している茅ヶ崎市とも重なって、とても身近に感じられる教材ではないかなと思います。そして、これまでの交流実践をさらに進めていくきっかけになることが期待されますので、東京書籍の教科書を挙げたいと思います。

ほかに意見はございませんでしょうか。

ご意見も出尽くしたようでございますので、よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる英語の教科書の発行者は東京書籍と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 それでは、東京書籍に決めます。

続きまして、道徳の教科書を1者に絞り込んでまいりたいと思います。改めて教科書見本本を確認していただきながらお考えをまとめていただく時間を5分ほど取りましてご意見を伺いたいと思います。よろしく申し上げます。

そろそろお時間となりましたが、よろしいでしょうか。

それでは、ご意見を伺いたいと思います。よろしく申し上げます。城田委員、お願いします。

○城田委員 本市では、いじめの根絶に向けて、いじめの問題は社会全体が一丸となってその解決に取り組まなければならない課題であるということを改めて認識し、「茅ヶ崎市

いじめ防止基本方針」というのを策定しております。その中では、「いじめは人間として絶対に許されない重大な人権侵害に当たる行為である」ということがうたわれておりまして、このことを教えることとともに、児童・生徒が、いじめの問題について自ら考える機会を設けることが大切であると明記しております。そういう観点から道徳の教科書を見させていただいたところ、東京書籍と教育出版の教科書は、いじめに関して漫画を掲載して様々な立場から多角的に考えられるよう工夫がなされており、いじめの問題について生徒一人一人が自分のこととして考えられるようにつくられているなと思いました。1者に絞れないんですけれども、2者に関しては、いじめに関してはこのように記載されているところで、私はいいなと思いました。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見をいただきましょうか。伊藤委員、お願いします。

○伊藤委員 特別な教科道徳ですけれども、道徳科への改訂の経緯では、答えが1つではない、道徳的な課題を一人一人の生徒が自分自身の問題と捉えて向き合う、考える道徳、議論する道徳へと転換を図ると学習指導要領にも示されています。議論する道徳の転換のためには、仲間の意見に共感的に耳を傾け、自分の意見もしっかりと伝えようとする態度を育てることが大切だと思います。東京書籍の教科書は、対話的な活動が推進されるよう巻末にホワイトボード用紙がついており、これを使うことは、考え、議論する道徳の実現に向けて有効な手だての一つになると思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

それでは、私のほうで発言させていただきたいと思います。私も1者に絞ることができず、今回2者挙げたいなと思っております。まず1つ目でございますが、道徳科で扱う教材につきましては、道徳科の狙いを達成するために、生徒の成長に寄り添って、学校の特色とか生徒の実態に応じて計画的、発展的に準備していくことが重要であると考えています。その点で光村図書の教科書は1年間の学習が3つの時期に分けられておりまして、学校生活の流れと生徒の1年間の成長を考慮した構成となっていると思います。その点で光村図書の教科書は非常に効果的ではないかなと考えました。

もう一つでございますが、新学習指導要領では、道徳科の目標の中に「道徳的な判断力、信条、実践意欲と態度を育てる」ことが示されています。この目標の達成に向けましては、各教材を通して生徒が問題意識を持ち自分事として捉え、対話的な学びにより考えを深めていかれる学習活動を行うことが大切だと思います。その点で東京書籍の教科書は

ロールプレイングの「ACTION！」が設けられており、生徒が物事を自分事として考えたり、他人の立場から考えたりすることができるという点で東京書籍を挙げたいと思いました。

ほかにご意見をいただけますでしょうか。大森委員、お願いします。

○大森委員 私も2つの教科書を挙げさせていただきます。東京書籍と学研教育みらい、この両方は共通なことが言えると思うんですが、その前に、中学校の道德というのはどういことが大事なかと考えさせていただきました。小学校において育成される道德性の基礎を踏まえて、よりよく生きる上で大切なものは何か、自分はどのように生きるべきかなど、様々な道德的な価値について考えていく場になると思います。そういう意味で、2つの教科書には自分の考えや思ったことを書き込める欄が設けられていて、自分を見詰め直したり、考える道德という意味でつながる工夫がなされていると思い、2つを推させていただきます。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はいかがでしょうか。赤坂委員、お願いします。

○赤坂委員 皆さんが2つ推されますので、私も2つ。道德の学習、授業というのは、とにかく自己をぐっと見詰めることができること、自分事として考えることができる教材、そして2つ目には、広い視点から、広い視野から多面的、多角的に考えることができる教材、そして3つ目に人間としての生き方を深く考えることができる教材が必要だと、こういう教科書がいいというふうに考えるんですが、私は、1つ目に推す会社は光村図書がいいと思います。光村図書の教科書には「深めたいむ」、深めるタイムですね、いじめをなくすにはどうしたらいいのだろうと深く考える「深めたいむ」とか「広げよう」というコーナーがありまして、読み物教材で学んだ道德的価値を具体的な活動を通して確かめて、さらに深めることができるように工夫されています。光村図書はやはり読み物教材がいいですね、優れているなと思います。

そして、もう一つは学研教育みらい、道德科の教材については、生徒が道德的価値を理解し、自己を見詰め、自己の生き方についての考えを深められるよう、生徒の発達段階に即した内容であることが求められます。中学生という非常に難しい時期、思春期の中学生に適した教材。形だけの教材だったら中学生は白けてしまいます。いかに教材がいいかというのが重要なんです。その点で、学研教育みらいの教科書は様々な切り口でいい教材を紹介しております。そういうページがありまして、生徒が興味・関心を高めながら意欲的

に学習に取り組めるように工夫されていると思います。教材開発という面で非常に優れていると思いますね。よって、私は光村図書と学研教育みらいの2者がよいと思います。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はございませんか。

ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

それでは、委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の生徒にふさわしいと思われる道徳の教科書の発行者は東京書籍と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 それでは、東京書籍に決めます。どうもありがとうございました。

それでは、29ページの別紙資料1で、これまで決定した発行者を確認してまいりたいと思います。事務局のほうで、これまでの審議で絞り込まれた教科書発行者を確認していただけますでしょうか。

○学校教育指導課長 それでは、これまでにご審議いただき採択が決定いたしました教科書発行者名を確認させていただきます。

この場では、発行者の略称のみ入力してまいりますので、スクリーンをご覧の上、ご確認ください。なお、発行者の番号や教科書の記号、番号、書名につきましては、事務局で後ほど記入させていただきます。

では、国語より確認させていただきます。国語・光村、書写・光村、社会（地理的分野）・東書、社会（歴史的分野）・東書、社会（公民的分野）・東書、地図・帝国、数学・東書、理科・大日本、音楽（一般）・教芸、音楽（器楽合奏）・教芸、美術・光村、保健体育・学研、技術・家庭（技術分野）・東書、技術・家庭（家庭分野）・東書、英語・東書、道徳・東書。以上でございます。

○竹内教育長 ありがとうございました。

続きまして、令和3年度使用中学校特別支援学級教科用図書の採択に移ります。担当事務局より説明をお願いします。

○学校教育指導課長 それでは、学校指導課長よりご説明申し上げます。30ページにございます別紙資料2をご覧ください。

特別支援学級教科用図書につきましては、教科書の発行者が限られており、表にお示したものととなっております。したがって、発行者の番号、発行者等全てを記載したものが別紙資料2となりますことをご承知おきいただきたいと思います。

○竹内教育長 ありがとうございました。令和3年度使用中学校特別支援学級教科用図書

は、発行者が限られていて、別紙資料2の表にあるものみの発行ということです。別紙資料2の確認をしていただくことで採択ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 ありがとうございます。それでは、特にご意見がないようですので、令和3年度使用中学校特別支援学級教科用図書は、別紙資料2に示した教科書を採択いたします。

以上で令和3年度使用中学校及び特別支援学級教科用図書の採択は全て終了いたしました。

○学校教育指導課長 長時間にわたりどうもありがとうございました。令和3年度に中学校で使用する教科用図書としては、先ほどスクリーンでご確認いただきました令和3年度使用中学校教科用図書を採択していただきます。また、令和3年度に使用する中学校特別支援学級教科用図書につきましては、別紙資料2に示した教科書を採択していただきます。なお、発行者の番号や書名等につきましては事務局で記入させていただき公開させていただきますこととなりますことをご承知おきください。

○竹内教育長 ありがとうございます。以上で本日の議題は全て終了いたしました。これをもって本日の臨時会を終了いたします。大変にありがとうございました。

午後4時36分開会